

QuickYWT 利用規約

QuickYWT 利用規約(以下「本規約」といいます)は、メモアプリケーション「QuickYWT」(以下「本アプリ」といいます)の運営者(以下「運営者」といいます)が、本アプリの利用条件を定めるものです。

第1条(本規約)

- 1 本規約は、本アプリを利用する方と運営者との間の一切の關係に適用されるものとします。
- 2 運営者が別途定める規定、注意事項、FAQ 等は、本規約の一部を構成するものとします。
- 3 本規約における用語の定義は、以下のとおりとします。
 - ① 「ユーザー」:本アプリを利用する全ての方をいいます。
 - ② 「メモ」:ユーザーが日々の学びについて、「やったこと(Y)」、「わかったこと(W)」、「次にやること(T)」の枠組みに従って本アプリに記録を行うこと(タグ等を付与することを含みまず)又は当該記録データをいいます。
 - ③ 「アプリストア」:本アプリをダウンロードできるデジタルコンテンツ配信ストア(「AppStore」及び「Google Play」)をいいます。
 - ④ 「プライバシーポリシー」:運営者が定める個人情報の取扱い方針をいいます。

第2条(本アプリの機能等)

- 1 本アプリは、以下の機能で構成されるものとし、ユーザーは、本アプリの仕様に従い、各機能を利用することができるものとします。
 - ① メモの作成、更新、削除、表示に関する機能
 - ② メモにタグを付与する機能
 - ③ メモの作成件数等の利用状態をグラフで可視化して表示する機能(ダッシュボード機能)
 - ④ 作成したメモを作成日やタグ等でまとめて提示する機能(For You 機能)
 - ⑤ キーワード、タグ、作成日等によるメモの検索機能
 - ⑥ 各種設定機能(メモのリマインドや For You 振り返り通知等のローカルプッシュ通知、文字数、テーマカラーの変更等の設定機能)
 - ⑦ 問い合わせ機能
 - ⑧ その他運営者が追加する機能
- 2 ユーザーは、アプリストアにおいて、本アプリのダウンロードを行ったうえで、ユーザー自身のモバイル機器にインストールし、本規約及びプライバシーポリシーをあらかじめ承諾のうえ、本アプリを利用することができるものとします。
- 3 ユーザーは、本アプリをダウンロード又は利用する際に発生するモバイル機器又は通信環境の準備等については、自らの責任と費用で行うものとし、当該準備等へのサポートについては、

運営者は行わないものとします。

- 4 運営者は、本アプリに実装した機能を上回る機能をユーザーに提供する義務を負わないものとします。また、運営者は、ユーザーが本アプリ内の問い合わせフォームによって、運営者に対して行った問合せや要望に対し、これらに必ず応える義務を負わないものとします。

第3条(メモの保存)

- 1 本アプリにおけるメモについては、ユーザーが利用するモバイル機器の記憶領域に保存されるものとします。
- 2 運営者は、メモの消失によってユーザーが被った不利益等について、いかなる責任も負わないものとします。

第4条(将来実装可能性のある機能について)

- 1 運営者は、ユーザーに告知することなく、随時本アプリに新機能を実装することができるものとします。
- 2 運営者が本アプリにサブスクリプション方式の有料機能を実装した場合は、本規約に加え、運営者が別途定める「サブスクリプション規定」が適用となるものとします。
- 3 運営者が本アプリにアカウント付与機能を実装した場合は、本規約に加え、運営者が別途定める「アカウント付与規定」が適用となるものとします。
- 4 運営者は、運営者の指定する広告サービス提供事業者のサービスの利用を開始した場合、当該事業者の仕様に則り、本アプリにおいて、広告配信を行うことができるものとします。
- 5 運営者が将来本アプリのマルチデバイス対応を行った場合において、メモを含むユーザーの各種データを運営者指定のクラウドサーバーに保管することが可能となった場合において、ユーザーが当該機能を利用する際は、ユーザーは、以下の事項にあらかじめ同意するものとします。
 - ① 運営者が、運営者指定のクラウドサーバー上に、メモを含むユーザーの各種データについて、運営者所定の期間保管すること
 - ② 運営者指定のクラウドサーバーが外国に存在する場合もあり得ること(ただしこの場合でも、クラウドサーバー事業者がデータを保管する目的以外で取扱うことはありません)
 - ③ 本アプリをアンインストールするにあたって、ユーザーがあらかじめ本アプリ上でメモを消去しない場合は、運営者指定のクラウドサーバー上に一定期間残存すること
- 6 ユーザーは、運営者が将来本アプリについて生成 AI と連携した機能を実装した際には、生成 AI がメモの内容を学習のうえ第三者のためにアウトプットする可能性があり得ることに鑑み、ユーザー自身の個人情報、ユーザーが守秘義務を負う情報、その他生成 AI 事業者に知られたくない情報については、極力メモに書き込まないように努めるものとします。
- 7 ユーザーは、運営者が将来本アプリについてメモデータのエクスポート及びインポート機能を実装した場合、ユーザーは、モバイル機器の機種変更等を行う場合において、新モバイル機

器でも本アプリの利用を継続的に行う際は、自らの責任で、ユーザー自身が利用するファイルストレージ等にメモを保存のうえ、新モバイル機器にインストールした本アプリへの再登録するものとします。

- 8 本条各項は、運営者が将来本アプリに実装する可能性のある機能について規定したものであり、運営者が本条に定めた各機能の実装を保証するものではありません。

第5条(禁止事項)

ユーザーは、本アプリを利用するにあたって、以下の行為をしてはなりません。

- ① 本アプリを破壊又は破損しようとする行為
- ② 本アプリに関して不正に情報を取得し、又は改竄する行為
- ③ 本アプリの通信先サーバーを攻撃する行為
- ④ 本アプリのリバースエンジニアリング及び取得した情報を公開する行為
- ⑤ 運営者のシステムに負担をかける、又は障害等を発生させる行為
- ⑥ 本アプリに関するアプリストアのレビュー欄において、当該アプリ内容に関係のない内容を投稿する行為
- ⑦ 法令又は公序良俗に反する行為
- ⑧ その他運営者が不適切と判断する行為

第6条(非保証、免責事項)

- 1 運営者は、本アプリの機能を適切に提供することに努めますが、本アプリ及び本アプリのセキュリティ等に関して、欠陥、エラー、バグ、不具合等が一切発生しないことをユーザーに保証することはできません。
- 2 運営者は、ユーザーのモバイル機器及びアプリストア(OS 開発者)に起因する本アプリの不具合については、いかなる責任も負わないものとします。
- 3 ユーザーは、自己責任に基づき、本アプリを利用するものとし、本アプリの利用の結果、第三者の権利侵害が発生した場合においても、ユーザー自らの責任と費用によって解決するものとし、運営者は、いかなる責任も負わないものとします。
- 4 運営者は、ユーザーのモバイル機器や通信回線等の障害、エラー、バグの発生等についていかなる責任も負わず、かかる状況等によりユーザー又は第三者に生じた損害について、いかなる責任も負わないものとします。
- 5 本規約に定めた運営者を免責する事項は、運営者に故意又は重過失が存する場合には適用しません。また、本規約に定めた免責事項のいずれかの条項の一部が消費者契約法、民法その他の法令により無効、取消、差し止め等となった場合であっても、残部は継続して完全に効力を有するものとします。

第7条(本アプリの停止等)

- 1 運営者は、ユーザーが本規約の一つにでも違反するおそれを認めた場合、予告なく、当該ユーザーへの本アプリの提供及び当該ユーザーによる本アプリの利用を無期限に停止することができるものとします。
- 2 運営者は、以下の各号のいずれかに該当する場合、予告なく、本アプリによる機能及びサービスの全部又は一部の提供を中断することができるものとします。
 - ① 本アプリに障害が発生した場合
 - ② 本アプリのサーバー、プログラム、ネットワーク等に不具合がある場合
 - ③ 本アプリのサーバー、プログラム、ネットワーク等の点検、保守を行う場合
 - ④ 停電、サーバー故障等が発生した場合
 - ⑤ 地震、落雷、火災等の不可抗力による場合
 - ⑥ 運営者の休業による場合
 - ⑦ その他運営者が必要と判断した場合
- 3 運営者は、本アプリの全部又は一部の機能について、ユーザーに告知することなく(ユーザーに著しい不利益が生じる場合を除きます)、いつでも将来に向かって変更、追加、配信停止、サービス終了等を行うことができるものとします。
- 4 運営者は、第1項から第3項によってユーザーに生じた損害について、いかなる責任も負わないものとします。また、運営者は第1項によって運営者に生じた損害について、ユーザー及びユーザーであった者に対して請求することができるものとします。

第8条(権利の帰属)

- 1 本アプリのプログラム及び本アプリに運営者が表示したテキスト、標章、デザイン等の情報の著作権、商標権、その他一切の権利については、全て運営者又は運営者に許諾した権利者に帰属します。
- 2 ユーザーは、本アプリのプログラム及び本アプリに運営者が表示したテキスト、標章、デザイン等の情報について、運営者に無断で使用、転用、転載、複製、二次的著作等を行ってはならないものとします。

第9条(反社会的勢力排除)

- 1 ユーザーは、自らが暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等社会運動標榜ゴロ又は特殊知能暴力団、その他これらに準ずる者(以下これらを「反社会的勢力」といいます)に該当しないこと、及び次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。
 - ① 反社会的勢力が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - ② 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - ③ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に反社会的勢力を利用していると認められる関係を有すること

- ④ 反社会的勢力に資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - ⑤ 役員又は経営に実質的に関与している者が反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有すること
- 2 ユーザーは、自ら又は第三者を利用して次の各号の一つにでも該当する行為を行わないことを確約します。
- ① 暴力的な要求行為
 - ② 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ③ 取引に関して、脅迫的な言辞又は暴力を用いる行為
 - ④ 風説を流布し、偽計若しくは威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は業務を妨害する行為

第 10 条(本規約の変更)

運営者は、本規約及び付随する規定を変更できるものとします。本規約及び付随する規定を変更する場合、民法第 548 条の4の規定に従うものとします。

第 11 条(個人情報の取扱い)

運営者は、ユーザーの個人情報について、プライバシーポリシーに従って取り扱うものとします。

第 12 条(本アプリの事業の譲渡)

運営者は、本サービスの事業を第三者に譲渡した場合には(運営者の法人化による当該法人への譲渡を含みます)、本規約に基づく契約上の地位、ユーザー情報、その他の情報を譲受人に譲渡することができるものとし、ユーザーは、あらかじめ異議なく承諾したものとします。

第 13 条(言語)

本規約は、日本語版を正式版とします。本規約が将来他の言語に翻訳された場合においても、同様とします。

第 14 条(準拠法及び管轄合意)

本規約は、日本法に基づき解釈されるものとします。ユーザーと運営者の間で生じた一切の紛争については、訴額に応じて、運営者の住所地を管轄する地方裁判所又は簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

サブスクリプション規定

第1条(本規定)

- 1 本規定は、運営者が本アプリにおいてサブスクリプション方式による有料機能を実装したときから効力を生じるものとします。
- 2 本規定以外の定めは、「QuickYWT 利用規約」に従うものとします。
- 3 本規定における用語の定義は、以下のとおりとします。
 - ① 「有料ユーザー」:本規定に従って、運営者所定の料金を支払うことで本アプリの全ての機能を利用するユーザーをいいます。
 - ② 「アプリ内決済」:アプリストア所定の決済方法をいいます。
 - ③ 「サブスク料金」:有料ユーザーがアプリ内決済によって決済する月額又は年額のサブスクリプション料金をいいます。サブスク料金は、毎回、翌期分を決済する前払い式となります。
 - ④ 「決済日」:有料ユーザーがアプリ内決済を行った日と同じ日をいいます。

第2条(サブスク料金)

- 1 有料ユーザーとなることを希望するユーザーは、アプリ内決済の方法で、サブスク料金を毎月決済又は年間決算するための手続きを行うものとします。
- 2 無料ユーザーに戻ることを希望する有料ユーザーは、アプリストアにおいて、サブスク料金の解約手続きを行うものとします。ただし、更新日の前日までに当該解約手続きを行わなかった場合、翌月分又は翌年分のサブスク料金が決済されるものとします。
- 3 運営者は、あらかじめ有料ユーザーに対して合理的な期間を置いてアプリ内に表示することで、サブスク料金の改定を行うことができるものとします。
- 4 運営者は、一度収受したサブスク料金の返金について、返還する義務を負わないものとします。ただし、アプリストアの定めた返金規定に該当した場合は、この限りではありません。

第3条(アプリストアのルール)

- 1 有料ユーザーは、サブスク料金の決済にあたっては、本規定のほか、アプリストアの定めるルールを遵守するものとします。
- 2 本規定とアプリストアの定めるルールが異なる場合は、アプリストアの定めるルールが優先されるものとします。

第4条(本アプリのアンインストール時の留意事項)

ユーザーは、本アプリをアンインストールするにあたっては、あらかじめ以下の事項について同意するものとします。

- ① 有料ユーザーが、サブスク料金の決済を停止するためには、別途、アプリストア所定の方法でサブスク料金の解約手続きをしなければならないこと
- ② 有料ユーザーが前号の解約手続きを実施しなかった場合、運営者は、既に決済されたサブスク料金について、いかなる理由があってもユーザーに返還する義務を負わないこと

第5条(有料ユーザー向け機能等)

運営者は、有料ユーザーに向けた機能又はサービス等については、別途本アプリ上又は運営の定める方法で、公表するものとします。

以上

アカウント付与規定

第1条(本規定)

- 1 本規定は、運営者が本アプリにおいてアカウント付与機能を実装したときから効力を生じるものとします。
- 2 本規定以外の定めは、「QuickYWT 利用規約」に従うものとします。

第2条(アカウントの取得)

- 1 ユーザーは、以下のいずれかの方法で、本アプリのアカウントの登録を行うことができるものとし、アカウントの登録を行ったユーザーを「登録ユーザー」といいます。
 - ① メールアドレスの登録
 - ② Google アカウントの連携
 - ③ Apple アカウントの連携
- 2 運営者は、アカウントの付与希望者又は登録ユーザーが以下のいずれかに該当する場合は、理由を開示することなく、アカウント付与の拒絶又は取消しすることができるものとします。
 - ① 第1項各号のメールアドレス又はアカウントが無効である場合
 - ② 登録内容に虚偽が認められた場合
 - ③ アカウント付与対象者としての適性を欠くと運営者が判断した場合

第3条(ログイン情報管理、禁止事項)

- 1 登録ユーザーは、本アプリのアカウントへのログインに必要な情報(以下「ログイン情報」といいます)を厳格に管理するものとします。
- 2 登録ユーザーは、ログイン情報の第三者(知人、友人、家族等を含みます)への貸与、譲渡、名義変更、その他の処分を行ってはならないものとします。
- 3 ログイン情報の第三者利用により発生した損害は登録ユーザーが負担するものとし、運営者は、かかる登録ユーザーの損害から一切免責されるものとします。
- 4 ユーザーは、以下の行為を行ってはならないものとします。
 - ① 他の登録ユーザーの情報を収集する行為
 - ② 他の登録ユーザーになりすまして本アプリを利用する行為
 - ③ その他、本アプリのアカウントを不適切に使用する行為

第4条(登録ユーザー情報の変更)

登録ユーザーは、本アプリに登録した報に変更がある場合、速やかに本アプリ内で変更を行うものとします。

第5条(登録ユーザー向け機能等)

運営者は、登録ユーザーに向けた機能又はサービス等については、別途本アプリ上又は運営の定める方法で、公表するものとします。

以上